

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
1 年 生 2 学 期 （ 算 数 ）	A数と計算 A(1)数の構成と表し方 10よりおおいかず	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 数の大小や順序を考えることによって数列を作ったり、数直線上に表したりできる。 一つの数を他の数の和や差としてみるなど、他の数と関係づけることができる。 2位数の表し方について理解している。 	発言 ノート テスト	問題解決の過程や結果を、具体物や図などを用いて表現する活動
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。 		
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数の大小や順序を考えることによって数列を作ったり、数直線上に表したり、一つの数を他の数の和や差としてみるなど、他の数と関係づけようとしている。 2位数の表し方について理解しようとしたり、数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かそうとしていたりしている。 		
	A数と計算 A(2)加法、減法 ふえたりへったり たしざん ひきざん たすのかな ひくのかな	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知っている。 	発言 ノート テスト	問題解決の過程や結果を具体物や図などを用いて表現する活動
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、日常生活に生かしたりする。 		
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知ったり、数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、日常生活に生かしたりしようとしている。 		
	B図形 B(1)図形についての理解の基礎 かたちあそび	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ものの形を認め、形の特徴を知っている。 	発言 ノート テスト	身の回りの具体物を操作しながら物の形に親しむ活動
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ものの形に着目し、身の回りにもものの特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりしている。 		
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ものの形を認め、形の特徴を知ったり、ものの形に着目し、身の回りにもものの特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりしている。 		
	C測定 C(1)量と測定についての理解の基礎 どちらがながい どちらがおおい どちらがひろい	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにももの大きさを単位として、そのいくつかで大きさを比べることができる。 長さ、広さ、かさなどの量を、具体的な操作によって直接調べたり、他の物を用いて比べたりすることができる。 	発言 ノート テスト	日常生活にある量の大きさを比べる活動
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。 		
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにももの大きさを単位として、そのいくつかで長さ・かさ・広さ・大きさを比べたり、具体的な操作によって直接調べたりして、量の大きさの比べ方を見いだそうとしている。 		
C測定 C(2)時刻の読み方 なんじ なんじはん	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で時刻を読むことができる。 	発言 ノート テスト	時計を読んだり、時計の模型を使って、時計の針を合わせる活動	
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けている。 			
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で時刻を読んだり時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けようとしていたりしている。 			

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
2 年 生	A数と計算 A(3)乗法 かけ算(1) かけ算(2) 九九のひょう	知識・技能	ア 乗法の意味について理解し、それが用いられる場合について知っている。 イ 乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ウ 乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解している。 エ 乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。 オ 簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知っている。	発言 ノート テスト	・身の回りから乗法で全体の個数を求められる場面を探す活動 ・自分の考えを、図や数、式、言葉を使って説明する活動
		思考・判断・表現	ア 数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 イ 数量の関係に着目し、計算を日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	知識・技能の項目を理解・習得したり、数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたり、数量の関係に着目し、計算を日常生活に生かしたりしている。		
2 学 期 (算数)	C測定 C(1)長さやかさの単位と測定 水のかさ	知識・技能	ア かさの単位(mL)(dL)(L)について知り、測定の意味を理解している。 イ かさについて、およその見当を付け、単位を適切に選択して測定することができる。	発言 ノート テスト	・ペットボトルや容器を使ってLやdLのかさを測る活動 ・自分の考えを、具体物や図、数、式、言葉を使って説明する活動
		思考・判断・表現	身の回りのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり、比べたりしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	かさの単位について知り、測定の意味を理解したり、かさについて、およその見当を付け、単位を適切に選択して測定したり、身の回りのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり、比べたりしている。		
B図形 B(1)三角形や四角形などの図形 三角形と四角形	知識・技能	ア 三角形、四角形について知っている。 イ 正方形、長方形、直角三角形について知っている。	発言 ノート テスト	・身の回りから正方形や長方形を探す活動 ・正方形、長方形、直角三角形を作図する活動 ・自分の考えを、具体物や図、数や言葉を使って説明する活動	
	思考・判断・表現	図形を構成する要素に着目し、構成の仕方考えるときに、身の回りのものの形を図形として捉えている。			
	主体的に学習に取り組む態度	三角形、四角形について知ったり、正方形、長方形、直角三角形について知ったり、図形を構成する要素に着目し、構成の仕方考えるときに、身の回りのものの形を図形として捉えたりしている。			

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
3 年 生 2 学 期 (算 数)	A数と計算 A(1)数の表し方 大きい数	知識・技能	ア 万の単位について知っている。 イ 10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数及びそれらの表し方について知っている。 ウ 数の相対的な大きさについての理解を深めることができる。	発表、ノート、テスト	図や式、言葉などを使って自分の考えを表現する活動、生活の場面とつなげながら考える活動
		思考・判断・表現	数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	万の単位について知ったり、10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数及びそれらの表し方について知ったり、数の相対的な大きさについての理解を深めたり、数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かしたりしている。		
	A数と計算 A(3)乗法 かけ算の筆算(1)	知識・技能	ア 2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が、乗九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、その筆算の仕方について理解している。 イ 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。 ウ 乗法に関して成り立つ性質について理解している。	発表、ノート、テスト	図や式、言葉などを使って計算の方法や自分の考えを表現する活動
		思考・判断・表現	数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	知識・技能の項目を理解・習得したり、数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。		
	A数と計算 A(4)除法 あまりのあるわり算	知識・技能	ア 除法の意味について理解し、それが用いられる場合について知っている。また、余りについて知っている。 イ 除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりできる。 ウ 除法と乗法や減法との関係について理解している。 エ 除数と商が共に1位数である除法の計算が確実にできる。 オ 簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を知っている。	発表、ノート、テスト	具体物や図や式、言葉などを使って計算の方法や自分の考えを表現する活動
		思考・判断・表現	ア 数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。 イ 数量の関係に着目し、計算を日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	知識・技能の項目を理解・習得したり、数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたり、数量の関係に着目し、計算を日常生活に生かしたりしている。		
	A数と計算 A(5)小数の意味と表し方 小数	知識・技能	ア 端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知っている。また、小数の表し方及びの1/10位について知っている。 イ 1/10の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知っている。	発表、ノート、テスト	数直線や図、式、言葉などを使って計算の方法や自分の考えを表現する活動
		思考・判断・表現	数のまとまりに着目し、小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知ること。また、小数の表し方及びの1/10位について知ったり、1/10の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知ったり、数のまとまりに着目し、小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かしたりしている。		

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
3 年 生 2 学 期 (算 数)	A数と計算 A(6) 分数の意味と表し方 分数	知識・技能	ア 等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることを知っている。また、分数の表し方について知っている。 イ 分数が単位分数の幾つかで表すことができることを知っている。 ウ 簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知っている。	発表、ノート、テスト	数直線や図、数、言葉などを使って計算の方法や自分の考えを表現する活動、生活の場面につなげながら考える活動
		思考・判断・表現	数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	知識・技能の項目を理解・習得したり、数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かそうとしたりしている。		
	B 図形 B (1) 二等辺三角形、正三角形などの図形 円と球	知識・技能	ウ 円について、中心、半径、直径を知ること。また、円に関連して、球についても直径などを知っている。	発表、ノート、テスト	図や具体物、数、言葉を使って自分の考えを表現する活動、生活の場面につなげながら考える活動
		思考・判断・表現	図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えている。		
		主体的に学習に取り組む態度	円について、中心、半径、直径を知ったり、また、円に関連して、球についても直径などを知ったり、図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えたりしている。		
	C 測定 C (1) 長さ、重さの単位と測定 重さ	知識・技能	ア 重さの単位（グラム（g）、キログラム（kg））について知り、測定の意味を理解している。 イ 重さについて、適切な単位で表したり、およその見当を付け計器を適切に選んで測定したりすることができる。	発表、ノート、テスト、観察	具体物を使って実際の重さを測定する活動、数や言葉などを使って単位の関係を統合的に表現する活動、生活の場面につなげながら考える活動
		思考・判断・表現	身の回りのものの特徴に着目し、単位の関係を統合的に考察している。		
		主体的に学習に取り組む態度	重さの単位（グラム（g）、キログラム（kg））について知り、測定の意味を理解したり、重さについて、適切な単位で表したり、およその見当を付け計器を適切に選んで測定したり、身の回りのものの特徴に着目し、単位の関係を統合的に考察したりしている。		

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
4 年 生 2 学 期 (算 数)	A数と計算 A(2) 概数と四捨五入 計算の見積もり	知識・技能	ウ 目的に応じて四則計算の結果の見積りを行うことができる。	発言 ノート テスト	児童の日常生活に関連する場面で の目的に応じた計算の見積もり活 動
		思考・判断・表現	日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えたとともに、それを日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	目的に応じて四則計算の結果の見積りをしたり、日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方考えたとともに、それを日常生活に生かしたりしている。		
	A数と計算 A(3) 整数の除法 わり算(2)	知識・技能	ウ 除法について、次の関係を理解することができる。 (被除数) = (除数) × (商) + (余り) エ 除法に関して成り立つ性質について理解することができる。	発言 ノート テスト	既習の数の見方に着目し、具体物 や図などを用いて、未習の計算の 仕方を見つける活動
		思考・判断・表現	数量の関係に着目し、計算の仕方考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	(被除数) = (除数) × (商) + (余り) の関係を理解したり、除法に関して成り立つ性質について理解したり、数量の関係に着目し、計算の仕方考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。		
	C変化と関係 C(2)簡単な場合について の割合 わり算(2)	知識・技能	簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知っている。	発言 ノート テスト	日常生活にある量の大きさを比べ る活動
		思考・判断・表現	日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察している。		
		主体的に学習に取り組む態度	簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知ったり、日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察したりしている。		
	A数と計算 A(6)数量の関係を表す式 式と計算	知識・技能	ア 四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算することができる。 イ 公式についての考え方を理解し、公式を用いることができる。 ウ 数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べたりすることができる。	発言 ノート テスト	既習の数の見方に着目し、具体物 や図などを用いて、 未習の計算の仕方を見つける活動
		思考・判断・表現	問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算したり、公式についての考え方を理解し、公式を用いたり、数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べたり、問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。		
A数と計算 A(7)四則に関して成り立つ 性質 変わり方	知識・技能	四則に関して成り立つ性質についての理解を深めることができる。	発言 ノート テスト	問題解決の過程や結果を具体物や 図などを用いて表現する活動	
	思考・判断・表現	数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方考えたりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	四則に関して成り立つ性質についての理解を深めたり、数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方考えたりしようとしている。			
B 図形 B (1) 平行四辺形、ひし 形、台形などの平面図形 四角形	知識・技能	ア 直線の平行や垂直の関係について理解することができる。 イ 平行四辺形、ひし形、台形について知っている。	発言 ノート テスト	具体物や図などを用いて表現する 活動	
	思考・判断・表現	図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直している。			
	主体的に学習に取り組む態度	直線の平行や垂直の関係について理解したり、平行四辺形、ひし形、台形について知ったり、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したりしている。			
B 図形 B (4) 平面図形の面積 面積	知識・技能	ア 面積の単位(平方センチメートル(㎠)、平方メートル(㎡)、平方キロメートル(㎟))について知っている イ 正方形及び長方形の面積の計算による求め方について理解することができる。	発言 ノート テスト	問題解決の過程や結果を具体物や 図などを用いて表現する活動	
	思考・判断・表現	面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えたとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。			
	主体的に学習に取り組む態度	面積の単位について知ったり、正方形及び長方形の面積の計算による求め方について理解したり、面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えたとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察したりしている。			

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
5 年 生 2 学 期 (算 数)	A数と計算 A(1)整数の性質 整数の性質	知識・技能	ア 整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを知っている。 イ 約数、倍数について知っている。	発言 ノート テスト	図を使って計算の方法や自分の考えを説明する活動
		思考・判断・表現	乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを知ったり、約数、倍数について知ったり、乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かしたりしている。		
	A数と計算 A(4)分数の意味と表し方 分数と小数、整数	知識・技能	ア 整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。 イ 整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解することができる。 ウ 一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことができる。 エ 分数の相等及び大小について知り、大小を比較することができる。	発言 ノート テスト	図を使って計算の方法や自分の考えを説明する活動
		思考・判断・表現	ア 数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察している。 イ 分数の表現に着目し、除法の結果の表し方を振り返り、分数の意味をまとめている。		
		主体的に学習に取り組む態度	(被除数) = (除数) × (商) + (余り) の関係を理解したり、除法に関して成り立つ性質について理解したり、数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。		
	A数と計算 A(5)分数の加法、減法 分数のたし算とひき算	知識・技能	異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。	発言 ノート テスト	図を使って計算の方法や自分の考えを説明する活動
		思考・判断・表現	分数の意味や表現に着目し、計算の仕方を考えている。		
		主体的に学習に取り組む態度	異分母の分数の加法及び減法の計算ができたり、分数の意味や表現に着目し、計算の仕方考えたりしている。		
	B図形 B(1)平面図形の性質 正多角形と円	知識・技能	ウ 円と関連させて正多角形の基本的な性質を知っている。 エ 円周率の意味について理解し、それを用いることができる。	発言 ノート テスト	正多角形の作図や円周率を求め用いている活動
		思考・判断・表現	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ったり、円周率の意味について理解し、それを用いたり、図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。		

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
5 年 生 2 学 期 (算 数)	C変化と関係 C(2)異種の二つの量の割合 単位置あたりの大きさ	知識・技能	速さなど単位置あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。	発言 ノート テスト	図や表を使って単位置あたりの大きさを求める活動
		思考・判断・表現	異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	速さなど単位置あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めたり、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしたりしている。		
	C変化と関係 C(3)割合 割合とグラフ	知識・技能	ア ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解することができる。 イ 百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。	発言 ノート テスト	数直線を用いて計算の方法や自分の考えを説明する活動
		思考・判断・表現	日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の割合との比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解したり、百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めたり、日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の割合との比べ方を考察し、それを日常生活に生かしたりしている。		
Dデータの活用 D(2)測定値の平均 平均	知識・技能	平均の意味について理解することができる。	発言 ノート テスト	図や数直線を用いて計算の方法や自分の考えを説明する活動	
	思考・判断・表現	概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	平均の意味について理解したり、概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしたりしている。			

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
6 年 生 2 学 期 (算数)	B 図形 B(1)縮図や拡大図、対称な図形 対称な図形	知識・技能	ア 縮図や拡大図について理解することができる。	発言 ノート テスト	既習の内容とつなげながら様々な方法で図形を描く方法を考える活動 地図帳など日常生活に利用する活動
		思考・判断・表現	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり日常生活に生かしたりしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	縮図や拡大図について理解したり、図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり日常生活に生かしたりしている。		
	B 図形 B(2)概形とおよその面積 およその面積と体積	知識・技能	身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めることができる。	発言 ノート テスト	知りたい建物や場所の面積を求める活動
		思考・判断・表現	図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めたり、図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常生活に生かしたりしている。		
	B 図形 B(4)角柱及び円柱の体積 角柱と円柱の体積	知識・技能	基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解することができる。	発言 ノート テスト	立体のつくり方に注目して求め方を考える活動
		思考・判断・表現	図形を構成する要素に着目し、基本図形の体積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。		
		主体的に学習に取り組む態度	基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解したり、図形を構成する要素に着目し、基本図形の体積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いたりしている。		
	C 変化と関係 C(1)比例 比例と反比例	知識・技能	ア 比例の関係の意味や性質を理解することができる。 イ 比例の関係を用了問題解決の方法について知っている。 ウ 反比例の関係について知っている。	発言 ノート テスト	既習の内容とつなげながら表を使って考えを説明する活動
		思考・判断・表現	伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだすとともに、それらを日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	比例の関係の意味や性質を理解したり、比例の関係を用了問題解決の方法について知ったり、反比例の関係について知ったり、伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだすとともに、それらを日常生活に生かそうとしたりしている。		
C 変化と関係 C(2)比 比	知識・技能	比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。	発言 ノート テスト	図を使って考えを説明する活動 生活の中で使う場面とつなげて考える活動	
	思考・判断・表現	日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったり、日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かそうとしたりしている			